

令和7年度デビューに向けて高温耐性のある水稲オリジナル品種の選抜を進めるとともに、スムーズな普及拡大のため、県民への情報発信(プロモーション)を実施

ひょうごの水稲オリジナル品種の育成と全体計画

地球温暖化が進む中、水稲の白未熟粒の発生など品質の低下に対応するため、JAグループと県との共同研究により、平成28年度からオリジナル品種の育成を開始。

本県の主力品種であるキヌヒカリ、ヒノヒカリ、コシヒカリに替わる品種の育成を進め、まずは令和7年度にキヌヒカリに替わる品種のデビューを目指す。

【3品種のデビューまでの全体計画】 育種目標:高温耐性・良食味品種

	H28~R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
キヌヒカリ代替	研究開発・選抜等			デビュー・一般栽培						
ヒノヒカリ代替	研究開発・選抜等						デビュー・一般栽培			
コシヒカリ代替	研究開発・選抜等									デビュー 一般栽培

① オリジナル品種の育成と選抜

28,474千円

有望な系統の選抜、現地での適応性試験実施

(1) 優良系統の選抜

品質・食味分析やガラス温室を利用した高温耐性検定を実施

●実施主体 県

(2) 現地適応性の試験

現地での栽培特性を確認するため、現地試験ほ場を設置し、生産者に栽培を委託

●実施予定地区数 9ヶ所



ガラス温室での高温耐性試験

② オリジナル品種の普及推進活動

5,500千円

生産・販売体制の確立と情報発信(プロモーション)

●実施主体 ひょうごの水稲オリジナル品種普及推進協議会(仮称)
(構成員: 県、JAグループ、米卸業者等)

(1) 生産・販売体制の確立

米卸業者等とオリジナル品種の集荷体制を検討するとともに、試食を通じた意見交換を実施し、販売体制の確立に取り組む

主要施策資料掲載

(2) ブランドプロモーション【新】 (5,500千円のうち5,000千円)

協議会ホームページを立ち上げ、オリジナル品種の育成経過・特長、生産者や消費者の期待などオリジナル品種誕生までのストーリーを動画配信し、情報発信